

社協だより

大也

第12号
平成13年8月15日
編集・発行
各務原市社会福祉協議会
中屋支部

となるので、地域が活力を維持し発展するためには、女性や高齢者が活躍できる社会づくりを。高齢者の九割近くは元気な方々、その長年培った知恵や技能を生し元気な内は働き続けられる社会づくり対策が必要ではないでしょうか。

社会全体で介護を支える公的介護保険制度が開始され、高齢

本年度の支部活動として七月十九日の地域介護講習会、八月九日、稻羽西福祉センターで開催する親子ふれあい観劇会があります。何分にも微力でありますので、地域の皆様方、支部役員のご協力とご指導を宜しくお願い致します。

仕組が確立されつつある。こうした背景のもと高齢者がでかける限り、健康で生き生きと自立した生活を送れるまち。誰もが安心して、誰にでも適用され、皆が将来に不安も心配もなく、住み良い環境づくり、地域づくりをめざして、地域福祉、在宅福祉の充実を進めていたたらと願っています。

社会福祉協議会（社協）の中屋支部長をお引き受けした奥村です。老後はまだ遠い事の様な気がしておりましたが、何時の間か高齢の仲間入をしている自分……。高齢化社会、介護保険、

大合戦まちに

大合(うまち)に

支部社協年間活動計画

8月9日 楽しかった
親子ふれあい人形劇

- ・現在、市在宅介護支援センターはつつじ苑など五つあること。
- ・市の人口推移、高齢化率の説明。
- 稻羽西小学校区の高齢化率は段突のトップで18.4%早目な対応で安寧な日々を。
- ・相談——公的保険・福祉サービスの利用、介護機器の選定などを市社協の嶋瀬さん、小林さんか

稻羽福祉センターにて、地域介護講習会が自治会長や近隣ケア、医心のある方の参加により開催された。

7月
19日
転倒予防教室
II 地域介護講習会 II

ら教えていた
だきました。

会員募集にご協力を

支
部
役
員

昨年までは体育館での三世代ふれあい親子映画会でしたが、今年は趣向を変えての人形劇で交流を図りました。冷房の入った涼しい稻羽西福祉センターで「牛方とやまんば」と沖縄民話からの「びんぼう神」が上演された。人形劇団モンメールの熱演に、ひき込まれたひとときでした。モンメールは岐阜TV番組「アンヨはじょうず」に三年間レギュラー出演、物語性のある作品を演じて来られ、その演目も三十に及ぶとのことです。

区分けして 市の酒巻保 健婦より解説を受け、つつじ苑の菅根さんから具体的な対応、更に“脳の若返り体操”的実習をしました。・一日一回五回ずつ・毎日行う習慣化・気軽に取り組んで：励ましを受けながらの講習会、次回は隣近所の方を誘って一人でも多くの方に参加していただけたらと思いました。



第20回福祉フェスティバル

市販会館周辺一帯にて
日用品バザーにご協力を

自治会を通して、ご家庭の日用品の提供をお願いしています。各班長さんのお力添えにより、自治会ごとに取りまとめて、福祉センター・市民サービスセンター・市役所社会福祉課等へご持参ください。

日頃は社会福祉協議会（社協と略称）中屋支部をはじめ地域活動にご協力頂き厚くお礼申し上げます。「ぬくもりと安らぎのあるまちづくり」を目指して、毎年八月にでも自治会を通して、一般会員・特別会員の募集をしています。当支部の稻羽西小校区は、市内16校区一番の高齢化率18.4%（市内の14.4%を四ポイントこえる）ねたまり、独居の高齢者も増えています。社協は校区市民運動会やふれあい催物への助成等をしています。ご協力のほどよろしくお願いします。



成清雨乞踊り

**地元文化の保存・継承
—雨乞い踊り—**

先般成清町公民館において、「雨乞い踊り」保存会の役員会が開催された。今年は「雨乞い踊り」が復活してから15年の節目を迎える。「雨乞い踊り」は江戸時代に始まつたとされるが、羽島用水の完成やその他の諸々の事情により次第にその必要性が失われ、忘れ去られようとしていた時地元住民の呼びかけにより見事復元されることになった。その節目の本年、その「雨乞い踊り」と「成清雨乞踊り」が日本フォークダンス連盟から伝統民踊として認められ「ふる里の民踊」として各務原市内で唯一取上げられ、東京より多数の関係者が来岐され調査研究の結果、伝統芸能として相応しいと認めら

れました。4月に東京赤坂の日本コロンビアのスタジオで保存のためのビデオ撮影、6月3、4、5日には熱海において「第41回全国民踊指導者講習会」が行われ、当成清町から4名が踊りの指導ということになりました。その前で披露することとなつた。

「成清雨乞踊り」についても日本コロンビアの歌

手、京極加津恵さんによつて唄われ成清町の伝統文化が全国にお披露されるとともに後世に永くこの文化を伝えるよう努力する覚悟である。(なお、8月14、15日の盆踊り大会にはこの踊りと唄が町民の前で初めて披露されることになっている。)

社協理事 成清自治会長 酒井國雄

平成13年度 収支予算書

収入の部

区分	予算額	備考
繰越金	250,170	
社協交付金	270,000	・会費の40%
預金利息	130	
市社協助成金	140,000	・福祉観劇会・機関紙発行等
計	660,300	

支出の部

区分	予算額	備考
事務費	10,000	・切手代・用紙代など
共通実施事業	140,000	
福祉教育事業	10,000	・三世代ふれあい広場 ・介護講習会 ・社会福祉懇親会(近隣ケイアグループとの懇親)
友愛訪問事業	100,000	・ねたきり・独居老人訪問
支部育成事業	30,000	・役員会(年4回)
メニュー事業	155,000	
機関紙発行	130,000	・機関紙発行(年2回)
福祉映画会	20,000	・ふれあい観劇
会費説明会	5,000	・会費趣旨説明会
その他の事業	131,000	
共催事業	40,000	・グラウンドゴルフ大会・市民運動会
啓発事業	56,000	・ベンチ(上戸・大野町)
ふれあい事業	35,000	・各町内コミュニティ会議
予備費	224,300	
計	660,300	

みんなといっしょにおどったよ

**中屋保育所
夏祭り**

17日、開会直前の雷雨、どうなることかと心配。一時間遅れで子どもたちの元気な歌声により開催できた。手づくりおもちゃやスマイル釣り、輪投げ、最後はみんな揃ってのおどり。先生方の芸達者ぶりの披露。みんなが楽しんだ夏まつりでした。

59名の園児たちが元気に通所し、友だちと仲良く活動しています。

岩間明美園長



ワーライ、海の中だ

ヒマワリも水ほしいんだよ

みんなといっしょにおどったよ

17日、開会直前の雷雨、どうなることかと心配。一時間遅れで子どもたちの元気な歌声により開催できた。手づくりおもちゃやスマイル釣り、輪投げ、最後はみんな揃ってのおどり。先生方の芸達者ぶりの披露。みんなが楽しんだ夏まつりでした。

59名の園児たちが元気に通所し、友だちと仲良く活動しています。

岩間明美園長

ワーライ、海の中だ

ヒマワリも水ほしいんだよ

みんなといっしょにおどったよ

17日、開会直前の雷雨、どうなることかと心配。一時間遅れで子どもたちの元気な歌声により開催できた。手づくりおもちゃやスマイル釣り、輪投げ、最後はみんな揃ってのおどり。先生方の芸達者ぶりの披露。みんなが楽しんだ夏まつりでした。

59名の園児たちが元気に通所し、友だちと仲良く活動しています。

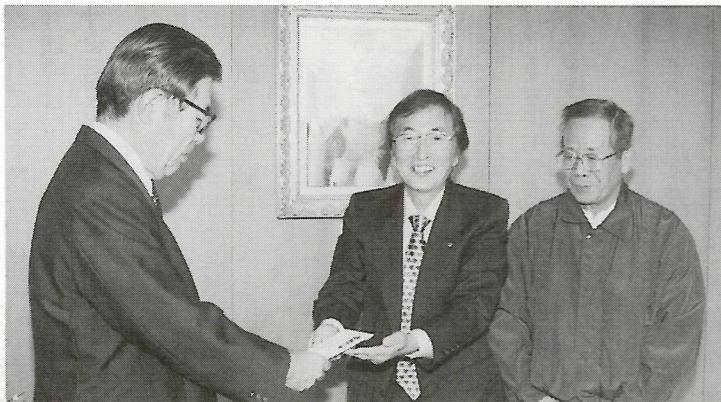
岩間明美園

社協だより



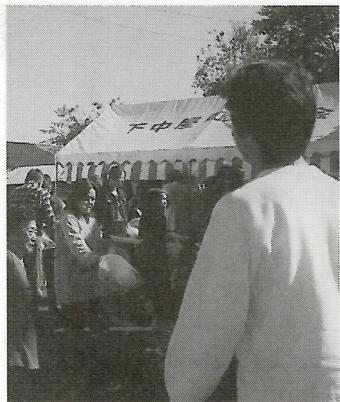
なかや

～下中屋町より「愛」を込めて～

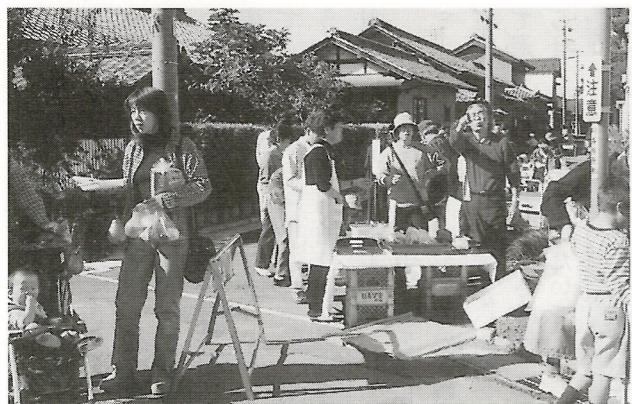


平成十三年十二月十八日、下中屋町自治会長、同副会長が、各務原市役所を訪れ、各務原市社会福祉協議会へと、小森助役にチャリティ金を寄贈致しました。

第九回ふれあい広場の チャリティ金贈呈



この寄贈金は、下中屋町の自治会が、平成十三年十一月三日と四日に行つた、第九回「ふれあい広場」の催しの一環として、チャリティ・フリー・マーケット「我楽多市」を開催し、その売り上げ金の一部とチャリティ募金を合計したお金です。



第13号
平成14年3月31日
編集・発行
各務原市社会福祉協議会
中屋支部
編集責任者
小島道弘

「市民清掃に参加して」

上戸町中学校育成長 大岩慶多
十一月四日の早朝七時。年中行事である秋の市民清掃に参加しました。眠そうな目をこすりながら中学生の有志も参加して、今年は町内のメイン道路の空き缶・ゴミ拾いも行われました。

「何でこんな事やらないかんや。」とタメ口を吐きながらのそのそと動き出す者。「ファーリー、やりまーす。」と力の抜けた返事をして歩き出す者と様々なスターになりました。

これは自分も大人として手本を見せねばと意気込んで巡回に出掛けていました。ふりかえってみれば、とびっきりの笑顔をくくれました。

してみるとやり始めこそタラタラしているものの、その内に「あ、そこにある。ここにもや。」と、持っている回収袋に溜まり始めるのが何となく嬉しいのか、ついに誰もが懸命になるのです。

町内美化などと力をいれずとも何かをやり遂げる清々しさは皆が味わった様子です。「こんなにあります。ふりかえってみれば、とびっきりの笑顔をくくれました。

大佐野町

福祉活動 ≪一年間≫

大佐野町自治会長 奥村 敬

平成13年度 社協中屋支部 収支決算見込書

収入の部 平成14年2月28日現在 (単位:円)

区分	収入額	備考
繰越金	246,392	前年度繰越金
社協交付金	270,000	会費の40%
市社協助成金	121,750	メニュー事業、機関紙発行など
預金利息	11	
合計	638,153	

支出の部

区分	支出額	備考	
事務費	8,959	ハガキ、切手、原稿用紙、写真、フィルム	
共通実施事業	101,800	福祉教育事業 10,000 友愛訪問事業 82,800 支部育成事業 9,000 その他の事業 15,000 メニュー事業 128,550 機関紙発行 110,250 福祉人形劇 18,300 共催事業 40,000 啓発事業 54,600 ふれあい事業 35,000 予備費 0	三世代ふれあい広場 12月シート等23名、2月カステラ40名 役員会 4月、7月、10月 木曽川音楽祭チケット代 8月15日、3月31日発行 出演料、ジュース代70×45 グランドゴルフ大会20,000、 校区市民運動会20,000 ベンチ（上戸町、大佐野町） 7町内×5,000円
合計	383,909		

638,153円 - 383,909円 = 254,244円

次年度繰越金 254,244円

10月まで収入が見込めないための運営資金

いただき、ひとつ、ひとつがみなさんの協力があったればこそと心よりお礼申しあげます。

成清町近隣ケア 横山いそえ

私たち今、老人の方々に対し積極的に「声をかけよう」を宣言葉にボランティア活動をしております。なぜなら以下のことをお読みいただければ、いかに老人は孤独で寂しい存在であるかご理解いただけるかと思います。



グランドゴルフ大会、ゴキブリだんご配布（独居老人）、盆おどり大会、市民運動会、松茸ごはん配食（八十才以上の方と独居老人）十二月民生委員の方と一緒に介護用品配布、二月前回対象者と独居老人の慰問・・・・・。微力で何も出来ませんでしたが、この一年間多くの方々のご協力のお陰で無事行事を終えることが出来ました。心からお礼申しあげます。ありがとうございました。

恒例となりました盆踊りも盛大に開催され、ジャンケンゲーム、かき氷、ヨーヨー風船、フランクフルト、焼きそば、ぬり絵、子供も大人も大いに楽しむことができました。踊りも民謡クラブの皆さんについて時間ぎりぎり迄楽しんで

お婆さんは、なぜか皆に嫌われて話しあ手がいません。一度話しこそとなかなか話が終わらないのです。いずれ誰もが年老いて行く身です。今少しでも寂しさを紛らわせることが出来るならお役に立ちたいと考えています。

お婆さんは、なぜか皆に嫌われて話しあ手がいません。一度話しこそとなかなか話が終わらないのです。いずれ誰もが年老いて行く身です。今少しでも寂しさを紛らわせることが出来るならお役に立ちたいと考えています。

